

2025年3月期 通期決算説明補足資料

株式会社 鶴見製作所
証券コード：6351

〈2025. 5.13〉

売上高・営業利益ともに過去最高を更新

新中期3ヶ年経営計画「Transformation 2027」のもと、これからの100年に向かって経営基盤を更に強化すべく、「ものづくり」を軸とした改革を推進

京都工場モータ生産棟が竣工

－ モータ内製化と最新加工設備で生産効率の大幅向上を図る －

ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.(以下、ZENIT社)の完全子会社化

【配当】

第2四半期末に「ZENIT社株式の100%取得(完全子会社化)」を記念し、中間配当で2円、期末に「京都工場のモータ生産棟竣工」を記念し、期末配当で2円、年間では記念配当として4円増配

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績	前年度比	2026年3月期 通期予想
■ 売上高	626億円	680億円	+54億円	710億円
■ 営業利益	89億円	102億円	+13億円	104億円
■ 経常利益	126億円	104億円	△22億円	108億円
親会社株主に帰属する ■ 当期純利益	82億円	87億円	+5億円	76億円

※通期業績予想には2024年7月に完全子会社としましたZENIT INTERNATIONAL S.P.A.の連結業績への影響も織り込んでおります。

※億円未満切捨て

(単位:百万円) ※百万円未満切捨て	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期	増減	
			金額	%
売 上 高	62,629	68,058	5,429	8.7%
売上総利益	22,466	26,152		
販売費及び 一般管理費	13,525	15,901		
営 業 利 益	8,941	10,251	1,310	14.6%
営業外収益	3,876	1,173		
営業外費用	179	932		
経 常 利 益	12,638	10,492	△2,146	△17.0%
特 別 利 益	247	2,082		
特 別 損 失	732	461		
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,288	8,783	495	6.0%

Point

前連結会計年度において営業外収益
 に為替差益2,625百万円を計上して
 ありましたが、これまでの円安基調が
 一段落し、当連結会計年度において為
 替差損を446百万円計上したこと等
 により10,492百万円と前連結会計
 年度と比べ2,146百万円(17.0%)の
 減益

参考 為替レート

対米ドル(円)	151.33	149.53
---------	--------	--------

(注)
 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

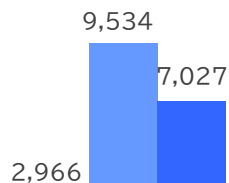
※()内は2024年3月期末からの増減

(単位:百万円)
※百万円未満切捨て

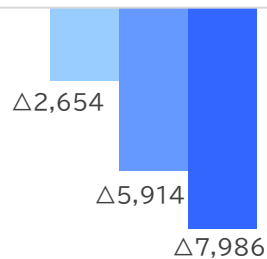
資産の部 131,509 (+16,158)	流動資産 81,657 (+8,624)	流動負債 25,828 (+10,727)	負債の部 35,656 (+10,501)
		固定負債 9,828 (△225)	
	固定資産 49,852 (+7,535)	自己資本 94,399 (+5,595)	純資産の部 95,852 (+5,657)
		非支配株主持分 1,452 (+62)	

自己資本比率 71.8%

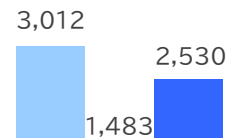
営業活動CF



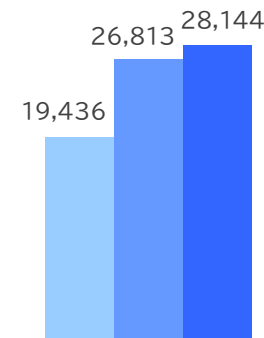
投資活動CF



財務活動CF



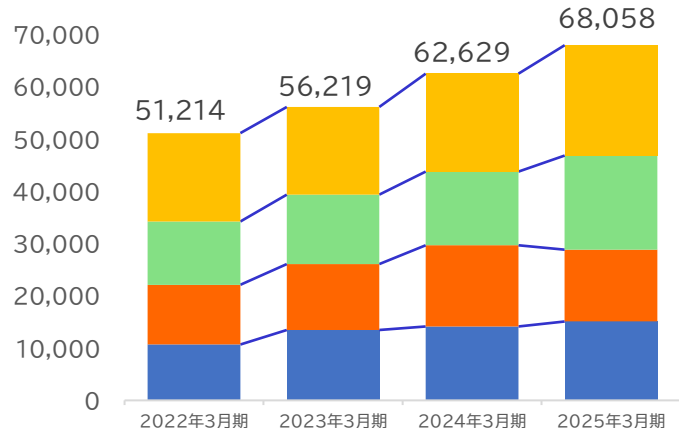
現金及び現金同等物の増減額



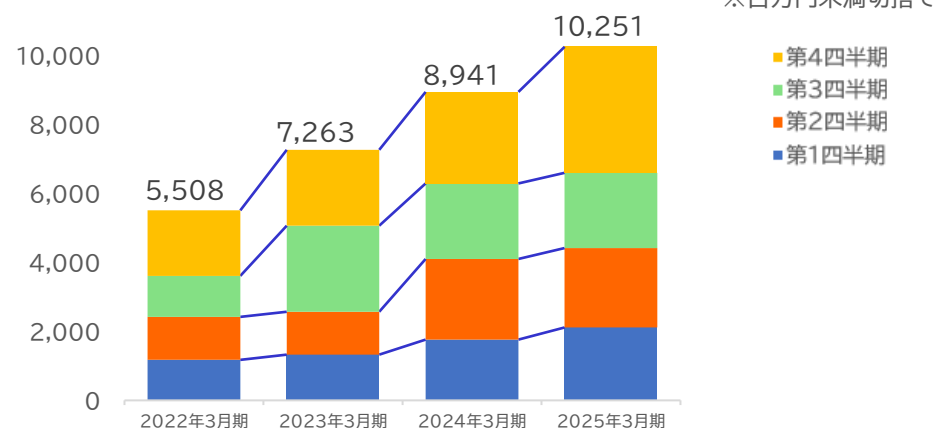
(単位:百万円)

■ 2023年3月期 累計 ■ 2024年3月期 累計 ■ 2025年3月期 累計

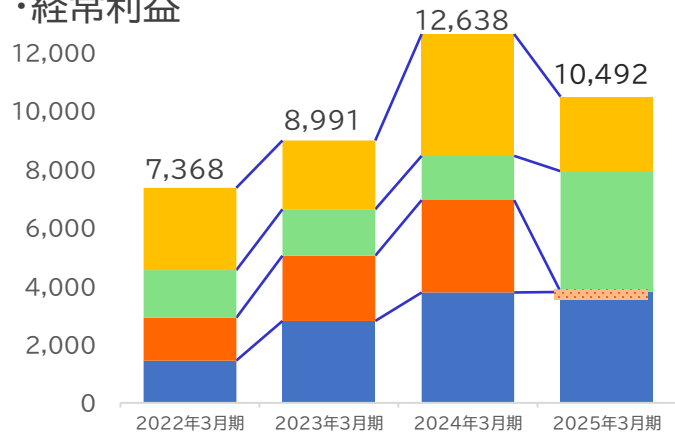
・売上高



・営業利益



・経常利益

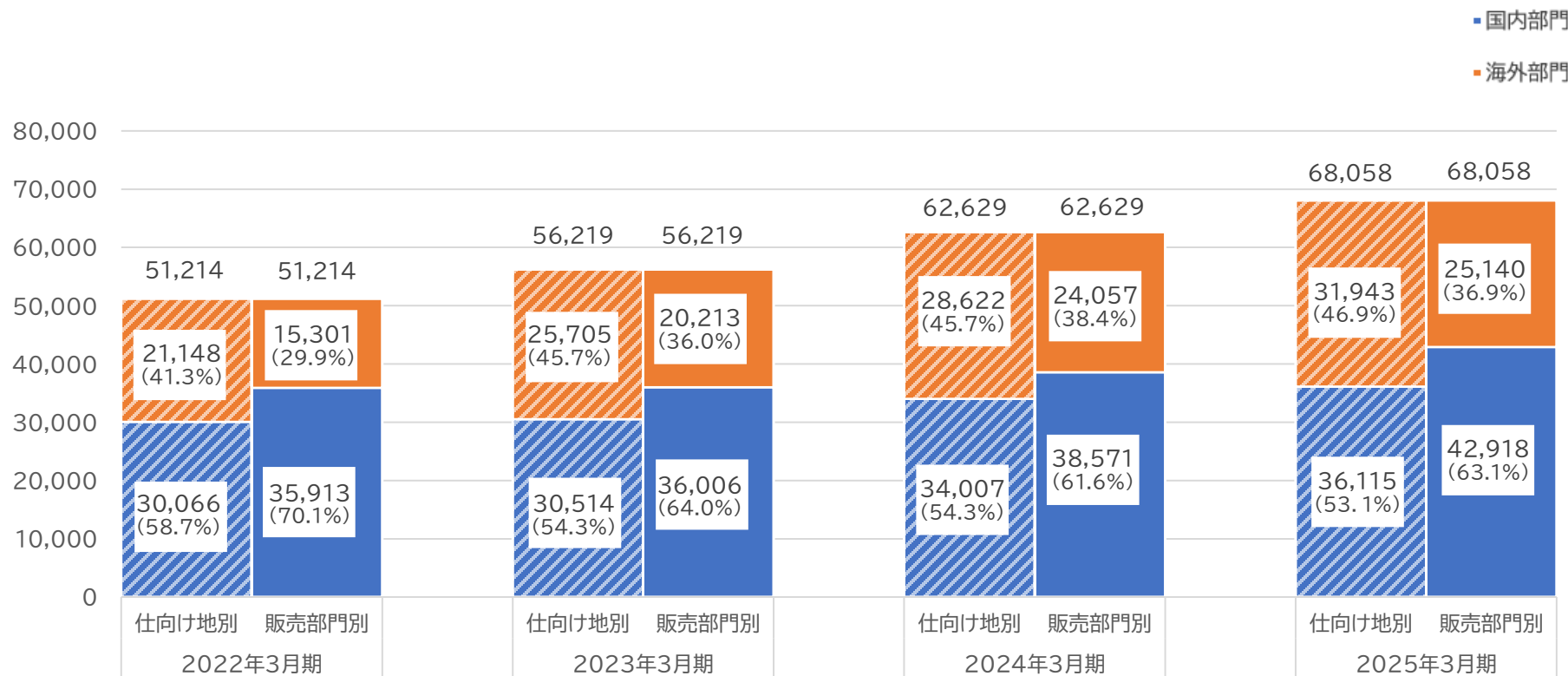


Point

【参考】

2024年3月為替レート：151.33円
2025年3月為替レート：149.53円

※第1四半期 3,801百万円、第2四半期 ▲82百万円



(単位:百万円)

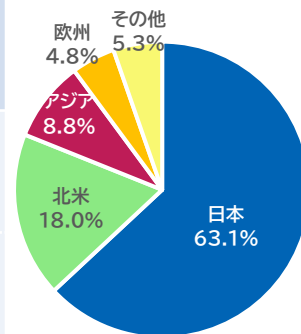
※仕向け地別＝販売先の地域別の売上になります

※百万円未満切捨て

Point

- 国内部門：売上高は増収、セグメント利益は増益
- 海外部門：北米地域：売上高は減収、セグメント利益は減益
 アジア地域：売上高は増収、セグメント利益は増益
 欧州地域：第3四半期連結会計期間より追加
 その他地域：売上高は減収、セグメント利益は減益

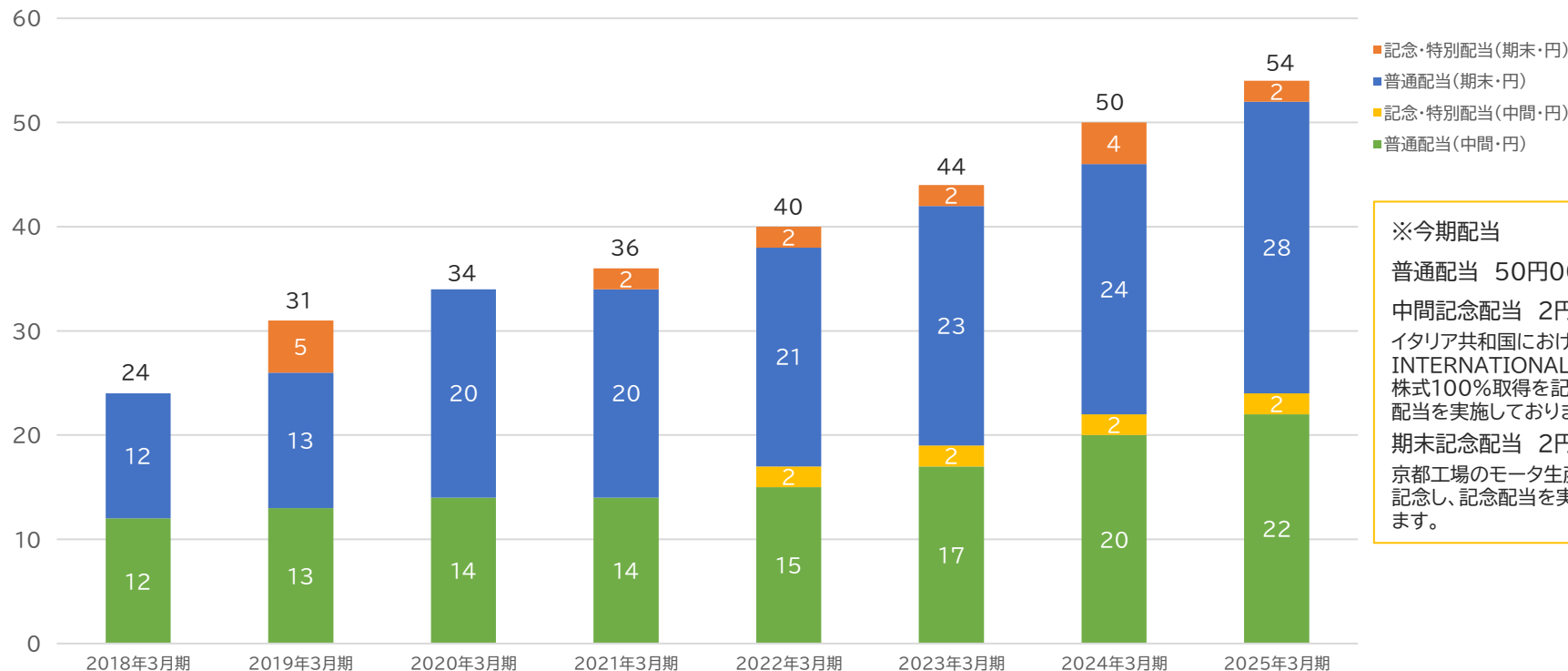
(単位:百万円)	日本	北米	アジア	欧州	その他	調整額	合 計
売上高 (前年増減率)	56,020 (+12.3%)	12,261 (△6.4%)	15,674 (+24.4%)	3,522	6,535 (△2.4%)	△25,956	68,058 (+7.0%)
外部顧客 への 売上高	42,918	12,261	5,988	3,255	3,634	—	68,058
内部 売上高 又は 振替高	13,101	—	9,686	267	2,900	△25,956	—
セグメント利益	7,723	1,370	1,788	204	802	△1,627	10,251
セグメント資産	77,463	14,600	18,517	13,334	8,371	△777	131,509

外部顧客への
売上高構成比

※百万円未満切捨て

※「その他」の区分は、中国、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでおります。

現状 分析	・ 資本コスト(WACC):現状6% ※CAPMベース ・ ROE:10% ・ ROIC:7.4%(水中ポンプ専業のため事業別ROIC未算出) ・ ネットキャッシュ状態・自己資本比率が高い
方針 ・ 目標	・ 連結営業利益率:10%以上 ・ ROE:10%以上 ・ 株主還元施策の実施 ・ 中期3ヶ年経営計画に基づく取組みの実行 ※詳細は経営計画ページを参照
主な 取り組み	資本収益性向上の施策 ・ 最適資本構成を意識した有利子負債の更なる活用 ・ 主要部材の内製化による原価率の維持・低減と QCD の向上 ・ 付加価値の高い製商品の開発と市場占有率の向上 成長投資・BCP投資 ・ モータや鋳物部材の新製法による内製化推進 ・ 気候変動対策・省人化に対応した製品開発(スマッシュポンプ・水中うず巻斜流ポンプ) ・ 太陽光発電・再生可能エネルギー活用 株主還元施策 ・ 累進配当方針(目標配当性向30%) ・ 株式市場の動向を見定め、機動的に自己株式を取得



※今期配当

普通配当 50円00銭

中間記念配当 2円00銭

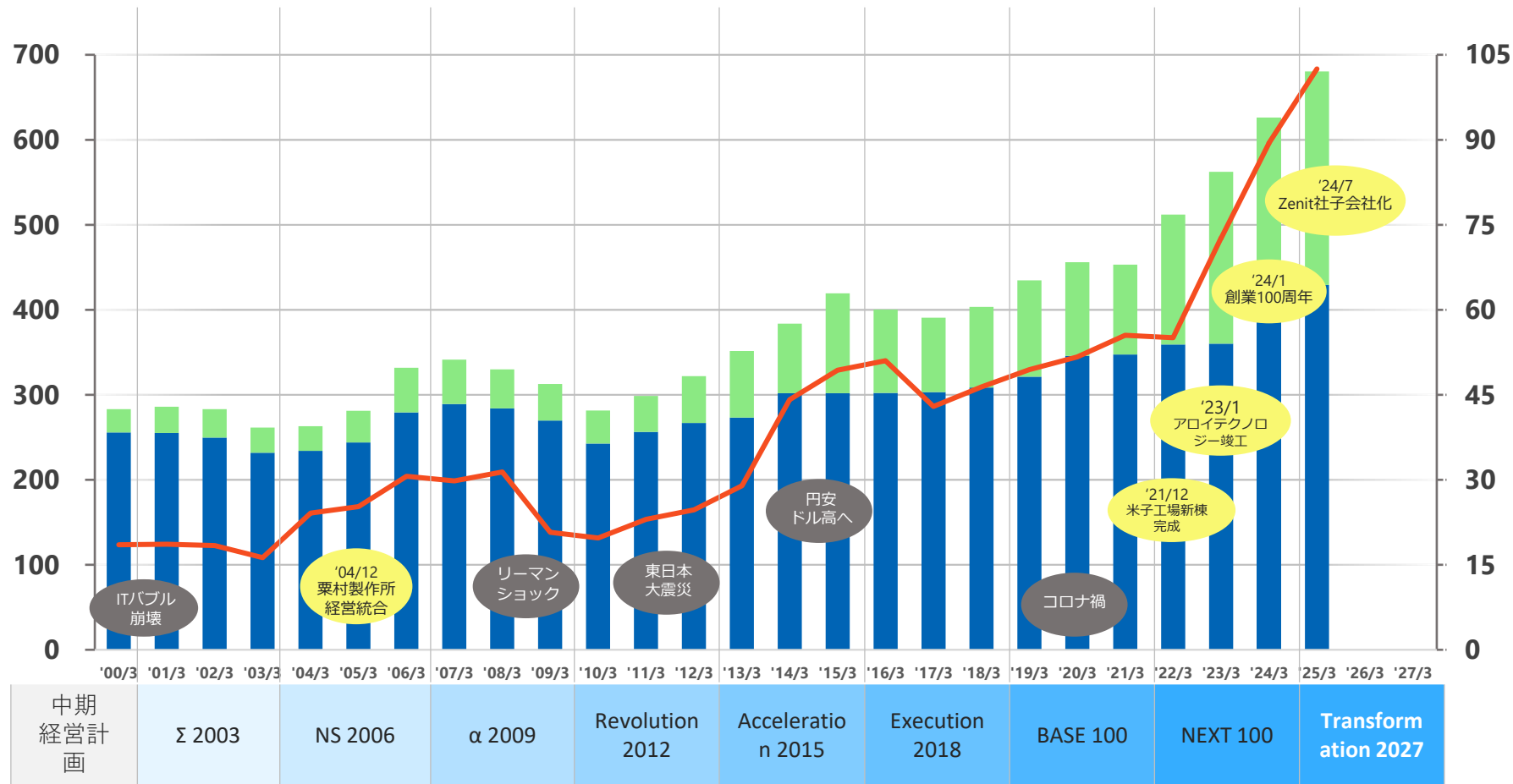
イタリア共和国におけるZENIT INTERNATIONAL S.P.A.の株式100%取得を記念し、記念配当を実施しております。

期末記念配当 2円00銭

京都工場のモータ生産棟竣工を記念し、記念配当を実施いたします。

安定配当の継続

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無



免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社鶴見製作所 広報・IRチーム

TEL:06-6911-2351

Email:kabushiki@tsurumipump.co.jp